

応用和漢医薬学プログラム 指導教員研究内容一覧

分野名 教員名 連絡先	研究内容
神経機能学 教授 東田 千尋 (杉谷) chihiro@inm	<ul style="list-style-type: none"> ・神経機能の活性化に関わる神経回路形成機序の研究 ・アルツハイマー病, 脊髄損傷, 頸椎症, 緑内障, 生活不活発病に対する根本的治療を目指した和漢薬研究 ・神経機能を制御する, 中枢神経と末梢臓器のクロストークの分子基盤の研究 ・基礎研究を植物性医薬品開発, 漢方方剤の効能拡大に繋げるための臨床研究 ・ヒトの心身の健康状態に影響する要因分析とバイオマーカーの探索
生体防御学 教授 早川 芳弘 (杉谷) haya@inm	<ul style="list-style-type: none"> ・NK細胞のバイオロジーと免疫応答における役割の解明 ・腫瘍微小環境での自然免疫応答の役割に関する研究 ・和漢薬による免疫応答および免疫疾患の制御に関する研究 ・がん悪性化・転移阻害をターゲットとした研究 ・腸管内の胆汁酸代謝をターゲットとした漢方薬ならびに食品成分の新しい疾患制御機構の解明
資源科学 教授 庄司 翼 (杉谷) tsubasa@inm	<ul style="list-style-type: none"> ・ナス科薬用植物の有用アルカロイド・テルペノイド経路の分子制御メカニズムの解明 ・タバコ属アルカロイド経路の新規制御メカニズムの解明 ・天然甘味化合物生合成・蓄積の解析 ・生薬の安定供給・生産のための応用研究
天然物創薬学 教授 森田 洋行 (杉谷) hmorita@inm	<ul style="list-style-type: none"> ・天然有機化合物の生合成経路の解明 ・二次代謝酵素の立体構造基盤の確立 ・新規医薬品開発を目指した酵素機能の改変 ・植物,微生物,海洋生物からの生理活性物質の探索 ・アジアにおける未利用薬用資源の探索 ・新規抗栄養飢餓耐性スクリーニング方法を用いた薬用植物資源から天然抗がん剤の探索と開発 ・薬用植物に対する化学研究および生理活性を有する新規二次代謝産物の探索 ・生物活性を有する天然化合物の構造-活性相関性およびがん細胞の生存経路に対する作用機序の研究 ・FT-NMR及びMSを用い, がん細胞に関連するメタボロームバイオマーカーの探索
複雑系解析学 教授 中川 嘉 (杉谷) ynaka@inm	<ul style="list-style-type: none"> ・脂質代謝を制御する小胞体膜貫通型転写因子の生活習慣病に対する機能解析 ・細胞内小器官の相互作用による脂質代謝制御機構の解明 ・生活習慣病を改善する和漢薬の作用メカニズムの解明 ・睡眠異常が引き起こす生活習慣病発症メカニズムの解明
未病学 教授 小泉 桂一 (杉谷) kkoizumi@inm	<ul style="list-style-type: none"> ・生体情報のゆらぎの理解と医療応用 ・グルタミンナーゼ阻害剤の開発と疾患への医療応用 ・漢方薬から発見した免疫活性化ナノ粒子, および免疫活性化核酸断片の機能解明とその医療応用 ・腸管免疫性疾患の病因及び病態形成機序の解明ならびに治療および発症予防のために有効な薬物の探索とその医療応用

分野名 教員名 連絡先	研究内容
臨床薬剤学 教授 加藤 敦 (杉谷) kato@med	<ul style="list-style-type: none"> ・糖タンパク質，糖加水分解酵素，糖転移酵素の性質に着目した希少疾患に対する効果的な薬剤シーズの探索と有効性の検証 ・糖類似アルカロイドおよび生薬由来化合物をベースとした創薬シーズの探索および和漢薬の効果的な使用法に関する研究 ・特定機能性食品および化粧品機能性素材の開発研究
生体機能化学 教授 井川 善也 (五福) yikawa@sci	教育・研究内容：リボザイムやリボスイッチに代表される，高度な機能を発揮するRNA分子機能発現機構の解析，新規な構造や機能をもつ人工RNA分子の創製，およびこれらの機能性RNAを基盤とした分子システムの構築とその応用に関する教育研究を行う。
生体制御学 教授 唐原 一郎 (五福) karahara@sci	マクロスコピックから微細構造まで三次元レベルを含め，植物の器官・組織の環境応答について，教育研究を行う。
遺伝情報工学 教授 黒澤 信幸 (五福) kurosawa@eng	<p>診断・治療に役立つモノクローナル抗体の開発を行うとともに，抗体を用いた生体分子の機能解析やバイオテクノロジーへの応用を目指した教育・研究を行う。</p> <p>生体内におけるタンパク質代謝のメカニズムの解明や，その人工制御方法の開発をめざした教育研究を行う。</p> <p>微生物を用いた生物反応工学による物質生産とともに，微生物細胞機構の解明に関する教育・研究を行う。</p> <p>生命を構成する分子やシステムを人工的に再構成し直す合成生物学的手法を用いて，生命の理解を深めるとともに，環境問題・医療などへ応用していくための教育・研究を行う。</p>
有機合成化学・創薬工学 教授 阿部 仁 (五福) abeh@eng	医薬品をはじめとする生物活性化合物やさまざまな機能性有機分子の効率的な合成法の開発に関する教育研究を行う。
生体情報薬理学 准教授 高崎 一郎 (五福) takasaki@eng	帯状疱疹後神経痛や偏頭痛，癌性疼痛に代表される難治性慢性疼痛疾患や，アトピー性皮膚炎に代表される難治性慢性掻痒疾患について，それらの病態メカニズムの解明と，新規治療薬の創薬に関する教育研究を行う。

・連絡先の(五福)，(杉谷)は当該教員の研究室があるキャンパスを示します。

・連絡先として本学メールアドレスの一部を記載しました。指導を希望する教員との事前相談にご利用ください。なお，利用の際には記載のアドレスの後に".u-toyama.ac.jp"を追加してください。

例) abc@def → abc@def.u-toyama.ac.jp